

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第119回）議事概要

1 日時 平成28年6月30日（木） 10時00分～11時47分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

伊東 晋（分科会長）、鈴木 陽一（分科会長代理）、相田 仁、
安藤 真、石戸 奈々子、近藤 則子、三瓶 政一、知野 恵子、
根本 香絵、前田 香織、水嶋 繁光、森川 博之（以上12名）

（2）総務省

（情報通信国際戦略局）

武田 博之（官房総括審議官）、吉田 博史（戦略局参事官）、
野崎 雅稔（技術政策課長）、荻原 直彦（研究推進室長）、
中西 悦子（通信規格課長）

（総合通信基盤局）

富永 昌彦（総合通信基盤局長）、渡辺 克也（電波部長）、
巻口 英司（電気通信事業部長）、田原 康生（電波政策課長）、
中沢 淳一（移動通信課長）内藤 茂雄（衛星移動通信課長）、
塩崎 充博（電気通信技術システム課長）

（4）事務局

中村 伸之（情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長）

4 議 題

（1）答申事項

①「2GHz帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件」のうち「実用準天頂衛星システムの技術的条件」について

【平成25年1月28日付け諮問第2032号】

【内容】

本件は、閣議決定に基づき、内閣府を中心として政府全体で取り組んでいる公共性の高いシステム。GPS衛星を補強して測位精度を高めたり、災害時の情報提供や安否確認を可能とする機能も備えている衛星通信システム。平成29年度までに人工衛星4機体制を整備して、平成30年度からサービスの開始を予定している。

(2) 諮問事項

- ①「K a帯を用いた移動体向けブロードバンド衛星通信システムの技術的条件」について

【平成28年6月30日付け諮問第2037号】

【内容】

本件は、船舶や航空機等、陸地以外でのブロードバンドのニーズの高まりに伴い、これらの場所でも安定した高速大容量通信が可能となるよう、これまで移動衛星業務で利用されていなかったK a帯（20/30GHz）を用いた移動体向けブロードバンド衛星通信システムの技術的条件について諮問があったもの。

(3) 報告事項

- ①「新たな情報通信技術戦略の在り方」に対する第2次中間報告書について

【平成26年12月18日付け諮問第22号】

【内容】

IoT/ビッグデータ/AI時代の到来により、産業構造の変革が起こり「プラットフォーム」と「データ」と「人工知能」を制するものが勝つというゲームチェンジがあらゆる産業分野で起きる可能性がある。このような中で、我が国全体で国際競争力を維持・強化するために、「スマートIoT推進戦略」と「次世代人工知能推進戦略」を取りまとめた。さらに、若い世代が世界と伍(ご)していくための新時代の「人材育成策」と「標準化戦略」をまとめたもの。

- ②「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」の検討開始について

【平成14年9月30日付け諮問第2009号】

【内容】

本件は、1.9GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局について、近年のIoT社会における多様な利用ニーズに対応するため、携帯電話等の国際標準規格であるLTE方式を利用した無線システムの導入に向けて、必要な技術的条件について検討開始を行うもの。

③ 有線電気通信設備令施行規則の一部改正について

【内容】

本件は、国土交通省の委員会で検討された無電柱化促進のための低コスト手法である小型ボックス活用埋設等による電線の地中化を推進するため、平成28年6月16日に有線電気通信設備令施行規則の一部を改正し、地中での通信線と電力線との離隔距離に係る技術基準の一部を緩和したことについて、総務省より報告があったもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 加藤、中山

電 話：03-5253-5957

F A X：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。